

指定管理施設事業評価票(令和4年度分)

1. 施設所管課 地域振興部 地域振興課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市日光市民活動支援センター		
	所在地	栃木県日光市今市304番地1		
指定管理者	名称	特定非営利活動法人おおきな木		
	代表者名	代表理事 峯岸 和光		
	住所	栃木県日光市板橋3156番地4		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年間
選定方法	公募	評価実施年	5年間のうち	3年目
施設設置目的	日光市民活動支援センター条例に定める施設で、市民の自主的、かつ、営利を目的としない社会に貢献する活動を支援することを目的とします。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談に関する業務</li> <li>・情報の収集及び提供に関する業務</li> <li>・人材の育成に関する業務</li> <li>・連携並びに交流に関する業務</li> <li>・研修会等の開催に関する業務</li> </ul>			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 入場者数	人	16,500	10,653	11,230	11,974	11,230	14,311				
b 利用者の満足度	%	75%	87%	75%	93%	80%	95%				
c コスト削減率(%)	%	100%	87.9%	99%	89.9%	100%	90%				
d 新規登録団体数増加	団体	5	11	5	10	5	13				
e 事業開催回数	回	5	7	5	5	6	5				

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入計 A	14,105,200	14,115,279	14,107,842	0	0
指定管理料	14,100,000	14,100,000	14,100,000		
利用料収入 C	0	0			
自主事業収入	0	0			
その他	5,200	15,279	7,842		
支出計 B	12,390,058	12,687,385	14,087,004	0	0
指定事業費	12,390,058	12,687,385	14,087,004		
内人件費 D	7,581,746	8,278,165	10,364,832		
内外部委託費 E	1,946,687	2,001,299	1,998,544		
自主事業費	0	0	0		
事業収支 A-B	1,715,142	1,427,894	20,838	0	0
人件費率 D/B	61.19%	65.25%	73.58%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	15.71%	15.77%	14.19%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

新型コロナウイルスの影響により多くの公益活動と事業が自粛や活動休止に追い込まれており、活動周知・担い手不足解決につなげるための交流の場づくりや人材育成(潜在層発掘や既存人材の成長支援等)を行った。また、新型コロナウイルスの影響に加え物価高や最低賃金上昇に伴うコスト増などが団体運営に影響を与えており、資金面に限るサポート(補助金情報等の調査と紹介)を重点的に行い公益活動を支援した。人材育成事業では既存課題と全国的に成果や事例のある最先端のテーマを組み合わせて実施した事が功を奏しこれまでつながっていなかった新しい人材の参加につなげる事ができた。それら実施事業から発展的な活動や居場所につながる旨の声が届いており、コロナ禍ではあったが安全に配慮しできる限りの支援策を検討・実施し一定の成果を上げることができた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	A
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B	
連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
総括	避難経路が適切に確保されている。	A	B	
		<b>「業務の実施体制」に関する評価【17項目】</b>	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	A
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	広報活動	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。		A	A	
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A	B	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B	
利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	A	
総括	<b>「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】</b>	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	<b>「経費の収支等」に関する評価【4項目】</b>	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) ボランティアフェスタの新たな取り組みとして「みんなでつくりようボラフェス」という協力者との関係構築や市民活動人材育成を目的とした企画を実行 委員と行政(地域振興課様)と一緒に創り上げた。企画実施の結果、実行委員に加えて、様々な主体の方々为主体に関わって下さり、これまで 以上に内容の濃い日光を代表するイベント開催につながった。これまでで最も団体の解散・休止が増加するなど課題としてあがった年度であった が、この企画実施により一度限りの協力ではなく、大部分の関係者が次年度も一緒にイベントを創り上げる意思を表明して下さっており、新たな 市民活動担い手の掘り起こしにつながった等、数字として見える大きな成果であり、コロナ禍ではあったが市民活動を盛り上げる事に貢献できた。			
	(所管課評価) 所管課と定期的に打合せを行い、報告すべき事項が発生した際には速やかに連絡できるように日頃からの関係構築を図っている。また、インター ンシップ等への受け入れにも協力的である。令和4年度は3年ぶりに開催された日光ボランティア・市民活動フェスタの事務局として、実行委員会 のサポートを行い、市民団体の交流の場を創出した。所管課で実施した市民団体へのアンケートでは施設スタッフへの感謝の声が多く、事業計画 に掲げた目標についても概ね達成していることから総合評価おB(良好)とした。 今後とも、市民団体間の交流・連携の場の創出や運営支援など、NPO・市民団体が活躍できる環境づくりを期待したい。			
前年度総合評価	<b>B(良好)</b>	総合評価	<b>B(良好)</b>	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。